

森松武将隊！ 久々に出陣！



中村区区民まつり
2023年10月28日
社長を筆頭に計8名
で参加しました！

対面で話すこと

森 直樹（代表取締役社長）



今年もあと残り2ヶ月を切り、毎度のことですが、1年の過ぎる早さを感じております。森松の年間行事である家族忘年会も今年から再開ということで、またご家族の皆さんと一緒に歓談できるのを楽しみにしております。先日、とある食品製造企業の全国会議を見学させて頂く機会があり、総勢200名近くの参加者がエリア別に分かれて、各自のテーマに議論を重ね、次の一手を探っていく様子は、会場全体が活気に満ち溢れていました。オンラインでの対面会議も定着してきてはいますが、やはり人と人が対面で話し合うことで交わす情報、言葉以外の部分で伝わるものが有ると感じました。同じ情報を伝えるにしても、書かれたものを読むのと、電話で同じ内容を聞くのと発信者から直接聞くのとでは、それぞれ伝わり方・受け止め方が変わります。「感情」が伝わるのも大きいと思います。その感情のこもったやり取りを交わすことのできる場を大切にすることで、中身の濃い議論や、自身の意見を的確に伝えるとが出来るでしょう。今後も目的に応じて、対面で話すことを心がけていきます。



通常開催の運動会

牧野 光昌 (企画営業部)



10月最後の土曜日に娘の息子たちが通う小学校で運動会が開催された。3年ぶりの通常開催で家族の見学に関しても人数制限はなく、昨年までのように、2学年ずつ校庭に出て競技を行い、終わったら次の学年と交代するという面倒な方法から、全学年が校庭に出て赤組と白組に分けられ、全員で応援合戦をしながら競技を観戦する本来の方式に戻り、家族も含め、町中に聞こえる様な響き渡る声援に、本来の運動会の楽しさが蘇りました。昨年までは春の運動会でしたが、今年より秋へ変更となり「これぞ秋晴れ」と言える快晴で絶好の運動会日和となりました。さて、恒例の徒競走の一番手の登場は「毎年2着の5年生の次男」。この二年間をサッカーの練習に明け暮れた成果がそろそろ出るか。ライバルとの接戦はサッカーで走り込んだ持久力が功を奏して、半身ほど早くテープを切った。それに一番喜んだのは妻であった。祖母孝行な次男であった。次は一昨年は1着でしたが昨年は3着に甘んじた「リベンジの3年生の三男」が登場。同じく二年間のサッカーの練習量は次男に負けない。1、2年では走るフォームが少々変だったが、サッカーのコーチに修正されたのだろうか、少し良くなった。この年頃はフォームが変わるだけで随分と早くなる。1年生の時のようにテープを切ったのゴール。妻はまた喜ぶ。万年1着の長男は今年から中学生で、運動会も前日の金曜日に行われたので見学は出来なかったが、クラス対抗の200m走に参加して学年で2位だったと自慢していた。1位は陸上部のエースだったらしい。「スラムダンクのノリでバスケットに入ったが、あいつに勝つ為に陸上部に転部する。」と言い出した。動機は何であれ、目標を持って打ち込めるスポーツは何でもやって下さい。最近運動不足の私も「少しは体を動かさんといかんじゃん。」と感じた一日でした。



ジブリパーク

村橋 敦士 (総務・経理)



2022年11月、「愛・地球博記念公園」に開業した「ジブリパーク」は「スタジオジブリ」の世界観を表現した公園である。この「ジブリパーク」の開業が毎年公表されている47都道府県の魅力度ランキングにて大きく貢献している様で、2022年20位から2023年16位とランクアップした。ちなみに、北海道・京都・沖縄・東京・大阪が上位5位となっており、これは前年と変わらずでした。そんな「ジブリパーク」は「ジブリの大倉庫」、「青春の丘」、「どんどこ森」等、複数のエリアに分かれていて、私たちは「ジブリの大倉庫」へ行ってきました。チケットは事前予約制で時間まで指定されているものの、退場時間は定められていないので、入場後は閉園時間まで滞在する事が出来ます。確かに、ジブリ映画で見た事のあるキャラクター、風景が作られていて、そのクオリティはテレビからそのまま出てきたかの様な印象を受けました。娘も「あの映画、トロロで見た!」と大はしゃぎし、写真を沢山撮っていました。息子は映画「ラピュタ」で登場した「巨神兵」に怖がる等、親の期待を裏切らない行動をとっていました。しかしながら、先述した様に退場時間がない上に、多くの所で写真を撮る行列が見受けられ、場所によっては1時間以上待つケースもあり、一緒に行った妹家族と交代で行列に並ぶ等して一通りの写真を撮り終わる頃には閉園を迎えました。ジブリの世界観に浸るというより、行列に並ぶ時間が多かった気はしますが、大人も子供も一緒になって楽しめた時間でした。2023年11月に「もののけの里」がオープンし、2024年3月には「魔女の谷」がオープン予定である等、今後も益々期待されます。とは言え、親たちの「あれ・これ・それ」が多い事、行かれる方は事前に映画を見てから行かれると、映画の情景がより一層浮かび、楽しいと思います。



プレイステーション

橋野 徳明（製造部）



プレイステーション 1994年12月3日発売。次世代機と呼ばれた据え置き型ゲーム機で、1億台以上の売り上げを誇り、市場トップシェアを獲得するほどの人気を集めました。プレイステーション2 2000年3月4日発売。PSの次世代機として開発され、当時高性能を誇ったアーケードゲームに勝るとも劣らないグラフィックをもち、当時の家庭用ゲーム機として最先端のスペックを有していながら、一方でDVDの再生機能も有していた。プレイステーション3 2006年11月11日。PS2の次世代機として開発された本機は、Cell Broadband EngineやBlu-ray Disc、HDMIや7.1chサラウンド、高精細解像度対応など、当時の映像技術の最先端をこれでもかと盛り込んだスペックとなっており、PSからPS2への進化の際に味わった映像美への感動を、再び味わわせてくれました。プレイステーション4 2014年2月22日発売。PS3から順当な進化を果たした次世代機で、バックグラウンドでの自動ダウンロード・インストール機能や、プレイ動画を公開・共有できる「シェア」機能、さらにスマホやタブレットなどからの「リモートプレイ」機能など、ネットワーク機能が大幅に強化されています。またPlayStation VRに対応し、本体と接続する事でVRゲームを楽しめるようになったのも、PS4からです。プレイステーション5 2020年11月12日発売。PS4の後継機として開発され、CPUやGPU、メモリといったハードのスペックはPS4の数倍とも言われており、卓越した映像美はもちろん、次世代ゲーム機の課題であったロード時間も大幅に短縮されています。またPS5には、ディスクドライブを備えた「通常モデル」とディスクドライブのない「デジタル・エディション」の2種類が用意されており、通常モデルはUltra HD Blu-rayに対応するなど、PS2から続くメディアプレイヤーとしての側面も継続。という歴史があるプレイステーション。ゲーム好きなのでプレイステーションは初代からやり続けています。さすがにプレイステーション5は高額の為、今もプレイステーション4で時間のある時は遊んでいます。好きなソフトはグランツーリスモ（カーレース）ウイニングイレブン（サッカー）です。



人生初の一人旅

齋藤 直（配送部）



森松に入る前の無職時代に人生でやりたいことの一つに一人旅というものがありました。今までの人生で一人になる事がほとんどなく旅行の計画も嫁任せで、家族の行きたい所に行っていました。今回は自分のしたい事をしようと思い、一泊二日の岡山・姫路旅に出掛けました。まずお酒が好きなので車はやめて安い深夜バスで岡山に向かい、駅で朝ごはんを食べた後、岡山城に向かい岡山後楽園を散策。黒いお城がかっこよくて最高でした。次に向かった場所はジープンが昔から好きでカスタマイズ出来ると聞いて、JRで倉敷に向かいオリジナルジーンズを作れるというベティスミスさんに向かった。デニムを選び、自分で選んだボタンとワッペンを付けて自分だけのジーンズが出来ました。かなり満足して岡山に戻り、駅周辺で日生カキオコ・津山ホルモンうどん・デミカツ丼を食べ飲んで一日目が終わりました。二日目はJRで姫路に向かい、まず姫路城と好古園に行きました。天気もよく桜も咲いていて綺麗すぎて感動で涙が出ました。お城を見ながらのおでんとビールは格別でした。海外の観光客がかなりいて有名な場所だと改めて思いました。次にバスで書写山円教寺に向かいました。ロープウェイで上まで上がり、道中にもたくさんの仏像やお寺があり少し雨が降っていましたが逆にすごく静かで神秘的に見えて心が洗われる感じになりました。ラストサムライのロケ地にもなった場所だそうです。次は姫路駅に戻り、えきそば・明石のたこ焼きを食べ飲んでお土産を買って新幹線で名古屋に帰りました。行く時はさみしいのかなって思っていたけれど、一人もたまにはアリで自分と向き合うにはいい、行って良かった旅でした。ひとり旅おすすめですよ。



ADVENT CALENDAR

アドベントカレンダーの「アドベント」とは、イエス・キリストの降誕を待ち望む期間を指しています。アドベントカレンダーは、キリスト降誕の日であるクリスマスまでの日々を数えるアイテムとして、19世紀初頭のドイツで誕生しました。日付を示す数字付きのボックスを、毎日1つずつ開けて楽しむアイテムです。

カルディ

アドベントカレンダー ウッドボックス



お菓子が入っているアドベントカレンダー
中身を好きなものに入れ変えたり
次の年以降も再利用できる。
オリジナリティの出せるBOX

PAUL&JOE BEAUTE

メイクアップコレクション / アドベントカレンダー



女性におすすめ！！

ミニサイズのコスメが入ったアドベントカレンダー
気になるブランドコスメをお試しできるかわいいBOX

HAVE A NICE CHRISTMAS.

映画鑑賞

阪本 昴星（製造部）



11月某日、翌週には寒さに凍えるとも知らずに長袖で出かけたことを後悔しながら向かった先は映画館。今回観に来たのは「映画 すみっこぐらし ツギハギ工場のふしぎなコ」、はたから見れば成人男性が一人で観に行くには少し疑問を感じる作品ではありますが、これがなかなか面白い作品なのです。そもそも「すみっこぐらし」とは2012年にサンエックス株式会社が発表されたキャラクターで、それぞれのキャラクターがコンプレックスを抱え少々ネガティブな存在で、「食べ残されたとんかつの端」や「寒がりのしろくま」、「自分に自信を持ってないぺんぎん？」に「気が弱く恥ずかしがり屋なねこ」と「正体を明かせないとかげ」。主にこの5匹がメインとなるのだが、映画自体はこれが3作目で私は2作目を映画館で観た時はあまりの感動に上映終了後も泣き続けていた。そんな思い出を振り返りながら座席に座りいざ上映開始。本当ならば映画の感想を細かく語りたいのだが、ここで書いてしまえばネタバレになってしまうので避けさせていただきます。かわりにあらすじや、ちょっとした見所の紹介を。すみっこ達は探し物をする最中に古びた工場を発見、そこで出会った「くま工場長」に頼まれ工場働くことに、そんな工場を舞台にしたふしぎなお話。私の個人的な見所はなんと言っても応援したくなるようなすみっこ達の行動や仕草です。本シリーズにはキャラクターのセリフが無く、ナレーションとすみっこ達の仕草から物語を読み取っていきます。一つ一つの仕草が少しオーバーに感じるくらいおどおどしていることが多いのですがそこに愛らしさが詰まっていて、なおかつお互いを支えあったり、誰かを助けようとする勇敢さ等も持っておりそんな彼らだからこそ観ていて元気付けられたり応援したくなります。そんなこんなであっという間に終わってしまった上映時間、やはり今回も感動から涙が止まらない。周りに勧めたいと思うのだが、やはり幼児向けと言う事もありバカにされてしまうことも多く、悔しいと言う思いや、もっと素晴らしい作品を周りにも知って欲しいと思い、いい機会だったので今回波紋の話題として本文を書かせていただきました。もしこの文を読んで興味を持って映画館に足を運んでいただく、または過去の作品もサブスクリプション等で配信されているのでそちらを観ていただけたならば幸いです。この文を読んでいただいた方に作品の魅力が少しでも伝わっていることを祈り終わります。